

第16回理事会議事録（案）

開催日時：令和4年7月21日（木） 19：30～20：30

開催場所：ZOOM 会議

役員現在数：10名

出席：河井正隆理事、坂井友実理事、坂本一理事、澤登拓理事、竹下義樹理事、藤井亮輔理事、矢野忠理事

意思確認書提出：小田木宏江理事、田辺和泉監事、野口栄太郎理事、

藤井専務理事より定款第34条（決議）が定める定数を満たしており、本理事会が成立したことが報告され、議事録署名人に澤登拓理事及び坂井友実理事と、議長に矢野忠理事長を選出し議事に入った。

○審議事項

1. 第1号議案 第6期事業報告（案）に関する件

藤井専務理事から議案書（別紙）に沿って9項目にわたる事業報告案が提案され、審議の結果、意義は出されず全会一致で承認された。

2. 第2号議案 第6期収支報告（案）に関する件

小田木理事（財務担当）が欠席のため、藤井専務理事より第6期収支報告案（別紙）に沿って提案がなされ、審議の結果、異議は出されず全会一致で承認された。

3. 第3号議案 監査報告に関する件

田辺監事が欠席のため矢野理事長より事前に提出されていた監査報告書案を読み上げて提案した。また、藤井専務理事より、田辺監事から指摘された以下2点の事項が紹介された。

①監事を2名態勢に早急に戻すよう努めること。

②黒字決算になったとはいえ国庫補助金100万円余りが含まれていること、負債合計は1300万円超あること等から財務状況は引き続き厳しい状況にあり、収益増と経費の節減に努めること。

この指摘を受け、坂本理事より、財団の基幹事業である講座開催事業について、参加したくてもできない人も多いため、課金システムによるオンデマンド方式の講座に改めようかとの意見が出された。矢野理事長からも同趣旨の発現があり、実技供覧の在り方については今後検討してはとの意見が出された。また、坂井理事からは広報担当の委員会を早期に立ち上げオンライン開催の具体策をまとめてはどうかとの意見が出された。監事1名の人選と広報委員会の構成を次回理事会までに理事長と業務執行理事の間で検討することになった。

4. 報告事項

（1）就労移行支援事業の創設に向けた取り組み

ヘレンケラー学院の跡地に日本視覚障害者団体連合（日視連）、国際視覚障害者援護協会（IAVI）、東京ヘレンケラー協会及び一枝のゆめ財団が共同で、視覚障害あはき師の資質向上を図るための研修センターを障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業所に位置づけて立ち上げる案件について、過去9回の協議概要が藤井専務理事より説明された後、竹下理事より以下のような説明がなされた。

4者のそれぞれの強みを活かした形で2025年4月を目途に三療プラザ館（研修センター）を立ち上げたい。日視連では理事会の協議題で審議したが反対意見はなく、建設的な意見が多く出された。これを受けて日視連内に準備会を立ち上げる予定である。並行して地方支部や盲学校を対象にアンケート調査を実施する。需要見込みを把握する意味とこの構想を全国に知らしめる効果がある。

その他の報告事項は議案書のとおり。

以上をもって議事を全て終了し20時30分に閉会した。

本理事会の議事の審議要領及びその結果を明確ならしめるため、本議事録を作成し、理事長並びに議事録署名人は次に記名押印する。

令和4年（2022年）7月21日

一般財団法人 一枝のゆめ財団 第16回理事会

理事長（議長） 矢野 忠

議事録署名人（理事） 坂井友実

議事録署名人（理事） 澤登拓



捨印

